

能勢町都市計画マスタープラン 改訂について（案）

- ①能勢町都市計画マスタープラン改訂案の構成
- ②能勢町都市計画マスタープランとは
- ③見直しの背景
- ④本町の現況
- ⑤まちづくりにあたっての課題
- ⑥基本目標・方針
- ⑦今後のスケジュールについて

①能勢町都市計画マスタープラン 改訂案の構成

①能勢町都市計画マスタープラン改訂案の構成

◆構成案

第1章 計画の概要

第2章 上位・関連計画

第3章 都市の現況と課題

第4章 まちづくりの基本方針 ← 【本日10/20 説明・協議】
ココまで

第5章 全体構想

第6章 地域別構想

第7章 実現に向けて

2

②能勢町都市計画マスタープランとは

◆計画の概要

○能勢町都市計画マスタープランについて

都市計画法第18条の2に規定され、
市町村の都市計画に関する基本的な方針として定められるもの

○計画の対象区域

能勢町全域【市街化区域・市街化調整区域】

4

◆計画の概要

○計画の担う役割

- ①実現すべき具体的な都市の将来像を示すこと
(住民の意見を反映し、まちづくりの具体性のある将来ビジョンを示す)
- ②個別の土地利用規制等、
都市計画に対する地域住民の理解を得る根拠となること
- ③土地利用や都市施設などの整備を進める際の
相互の調整を図る指針となること
- ④土地利用や都市施設などの都市計画の決定や変更の指針となること

5

②能勢町都市計画マスタープランとは

◆計画の概要

○計画の位置づけ

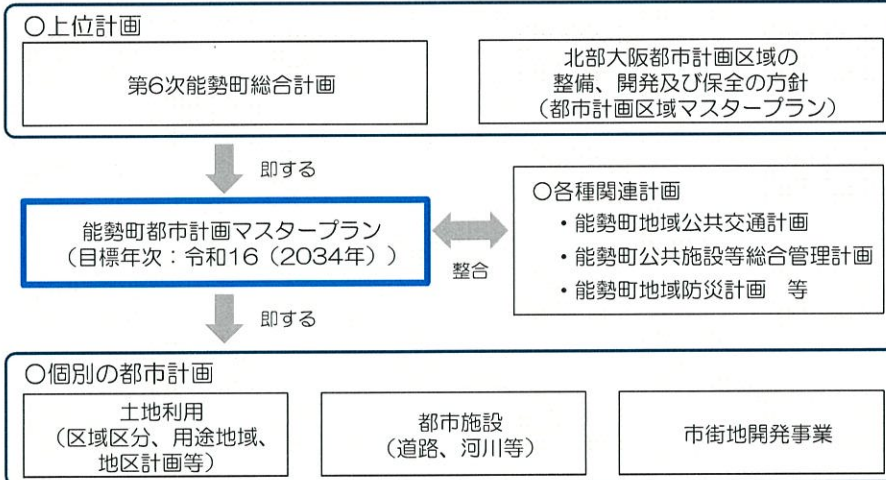


図 能勢町都市計画マスタープランの位置づけ

6

③見直しの背景

- A. 社会情勢の変化
- B. 上位・関連計画の改訂
- C. 高度産業化推進プロジェクト等の取組み

③見直しの背景

◆A.社会情勢の変化

- ・現計画の策定（平成25（2013）年8月）から10年が経過し、
本町を取り巻く社会情勢が変化

①人口減少・少子高齢化（多様な場面における担い手の減少）

参考資料：P9～13

②災害への対応

（集中豪雨等による土砂災害、大規模地震の発生等）

参考資料：P14

③地球温暖化など環境問題の深刻化と持続可能な社会の実現

（多様な自然環境を保ち続け、持続可能な循環型社会の確立）

8

③見直しの背景

◆人口推移

- ・本町の人口は減少傾向にあり、令和2（2020）年は約9千人まで減少しています。

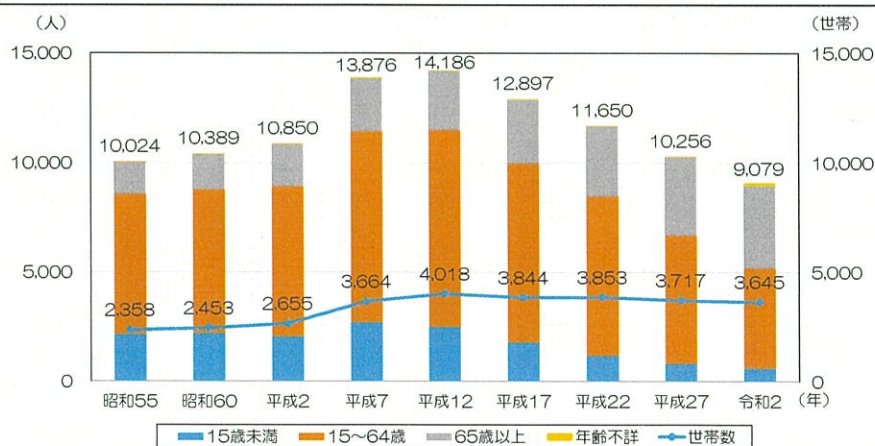


図 人口の推移

9

③見直しの背景

◆人口推移

- 3区分別人口をみると、高齢者（65歳以上）人口割合は増加傾向にあるものの、生産年齢（15～64歳）、年少（15歳未満）人口割合は減少傾向、とりわけ年少（15歳未満）人口割合の減少が顕著です。

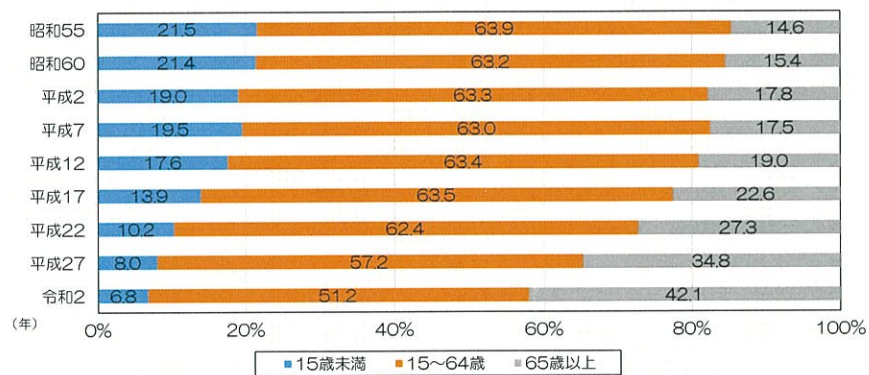


図 人口割合の推移

10

③見直しの背景

◆産業（工業）

- 製造品出荷額をみると、令和2（2020）年は減少に転じています。
- 従業員数をみると、平成16（2004）年以降減少傾向にあり、令和2（2020）年は約500人まで減少しています。

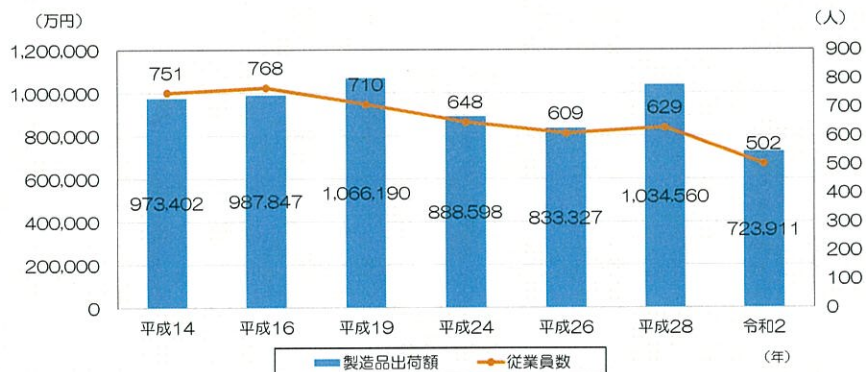


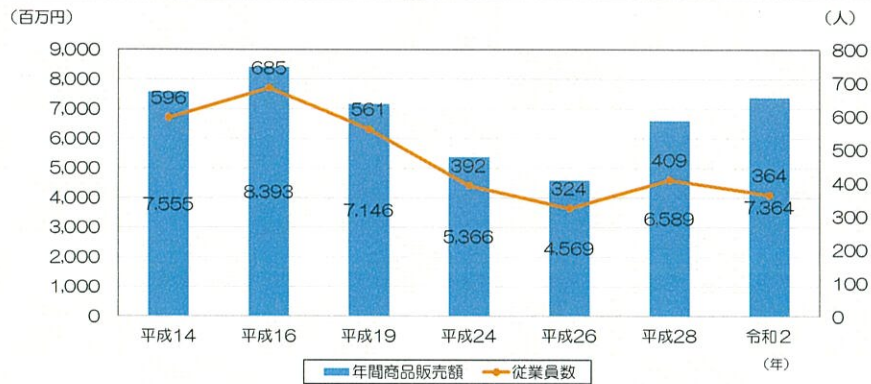
図 工業の推移

11

③見直しの背景

◆産業（商業）

- 年間商品販売額をみると、平成28（2016）年以降は増加傾向にあります。
- 従業員数をみると、平成28（2016）年以降は横ばい傾向にあります。

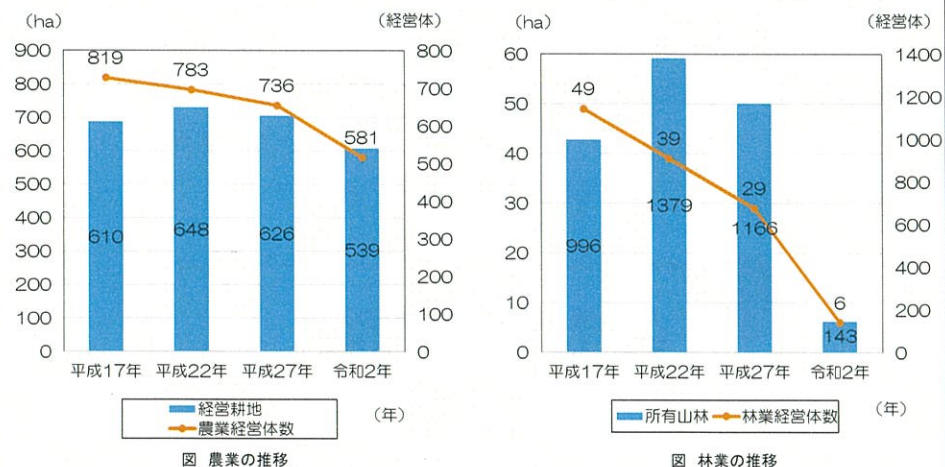


12

③見直しの背景

◆産業（農林業）

- 経営耕地や所有山林、経営体数はいずれも減少傾向にあります。



13

③見直しの背景

◆災害ハザード

- ・山間部や河川沿いを中心に土砂災害（特別）警戒区域等や洪水浸水想定区域が指定されています。

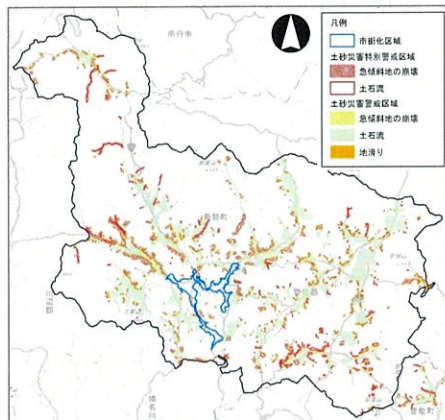


図 土砂災害(特別)警戒区域図

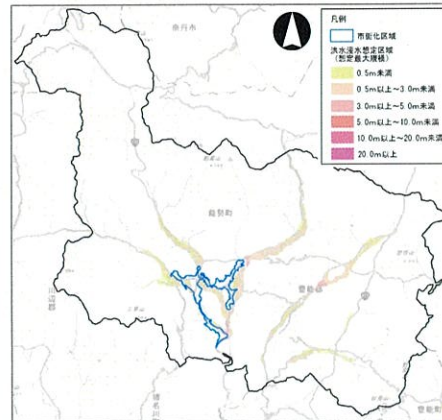


図 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

14

③見直しの背景

◆B.上位・関連計画の改訂：

①第6次能勢町総合計画（令和4（2022）年7月）

○将来目標

地域内外の「縁」を創造し、増やしていくことで、つながりや支えあい
が広がり、温かで賑わいがある開かれたまちを目指すとしています。

土地利用については、それぞれの地域の個性をとらえ、守ること、新し
くすることのバランスを大切に考えるとしています。

将来
目標

人・地域・地球の健康を守り
縁をつなぐ 開かれたまち能勢

おれんちの
まち

～能山未来都市～

15

③見直しの背景

◆B.上位・関連計画の改訂：

①第6次能勢町総合計画（令和4（2022）年7月）

○施策の大綱【5項目】（抜粋）あり、その1つには

施策大綱	施策のテーマ
地域経済の活性化	・ 地域ブランディング・シティプロモーションの推進 ・ 食・農業・農村資源の高付加価値化 ・ <u>産業の活性化と地域発イノベーションの推進</u> ・ <u>道路・交通環境の整備</u> ・ <u>新しい交通システムへの挑戦</u> ・ <u>時代に合った地域の魅力を引き出す土地利用</u>

16

③見直しの背景

◆B.上位・関連計画の改訂：

②北部大阪都市計画区域の整備、開発及び保全の方針
（令和2（2020）年10月）

○大阪の都市づくりの基本目標

- ・ 国際競争に打ち勝つ強い大阪の形成
- ・ 安全・安心で生き生きと暮らせる大阪の実現
- ・ 多様な魅力と風格ある大阪の創造

○大阪の都市づくりの方向性

- ・ 大阪都市圏の成長を支える都市基盤の強化
- ・ 国内外の人・企業を呼び込む都市魅力の創造
- ・ 災害に強い都市の構築
- ・ 産業・暮らしを支える都市環境の整備
- ・ 環境にやさしく、みどり豊かな都市の形成
- ・ 地域資源を活かした質の高い都市づくり

17

③見直しの背景

◆C.高度産業化推進プロジェクト等の取組み

★人口減少・少子高齢化による農地等の低未利用土地の増加

★事業所数・従業者数の減少、地域経済の縮小

（働く場・就労機会の減少）

（豊かな里山資源を次世代につないでいくことを前提にもちながら）

⇒「法人・企業による大規模・経営的農業」の必要性

⇒就労機会拡大や地域コミュニティの活力向上等に資する産業誘致

地域の経済やコミュニティ活力の向上に資する、新たな土地利用が
すすむよう、取組みをすすめる。

18

④本町の現況

④本町の現況

◆区域区分

- ・森上地区や大里地区などの約103haが市街化区域に、また約9,765haが市街化調整区域に指定されています。

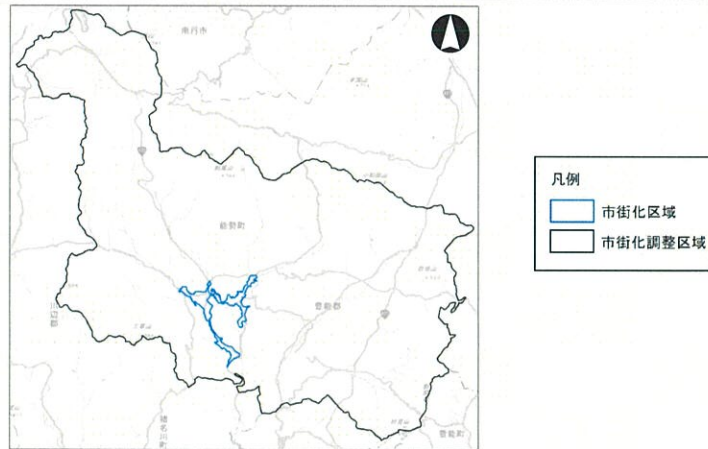


図 区域区分状況図

20

④本町の現況

◆土地利用

- ・山林が約80%と最も多く、これに田・休耕地及び畑を合わせると約90%を超えるなど、非常に豊かな自然環境を有しています。

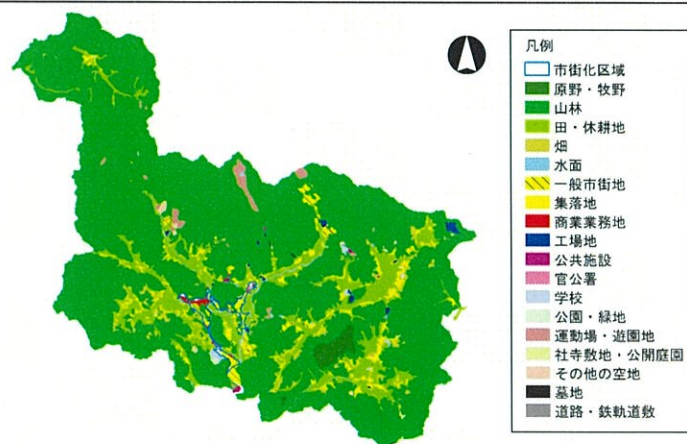


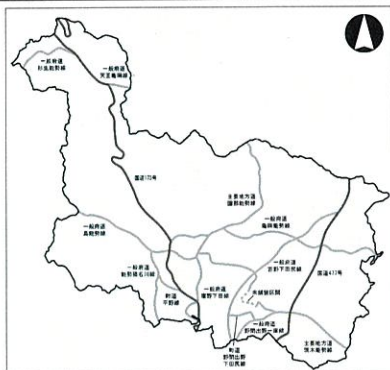
図 土地利用現況図

21

④本町の現況

◆都市基盤（道路）

- 国道や府道については大阪府等と連携し整備や維持管理を行っており、町道についても通学路における歩道整備などを進めています。
- 一定の整備がなされているものの、一部歩道が未整備の区間や、主要地方道茨木能勢線では一部未舗装の区間があります。



凡例
 — 国道
 - - 国道以外の主要な道路

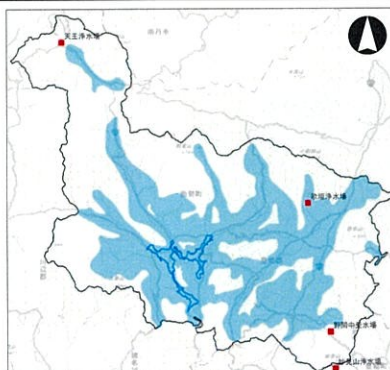
図 主要な道路の整備状況図

22

④本町の現況

◆都市基盤（上水道）

- 水道普及率は、令和4（2022）年度末時点で約99%となっており、今後は老朽化施設の更新を計画的に進める予定です。
- 令和6（2024）年度には水道事業の大阪広域水道企業団への統合が予定されています。



凡例
 ■ 市街化区域
 ■ 受水場及び浄水場
 ■ 上水道給水区域

図 水道普及状況図

23

④本町の現況

◆都市基盤（下水道）

- 市街化区域を中心に公共下水道による整備が進められており、令和4（2022）年度末での下水道普及率は約27%となっています。
- また、市街化調整区域では農業集落排水や個別処理での整備を進めており、町全体の水洗化率は約82%となっています。

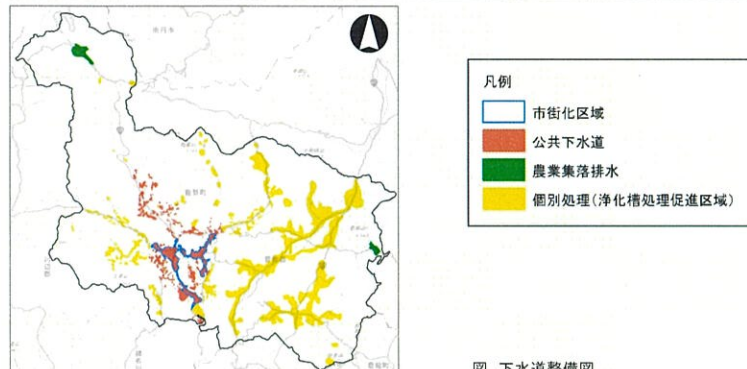


図 下水道整備図

24

④本町の現況

◆公共交通

- 路線バスは西能勢線と妙見口能勢線の2路線が運行されており、町外の鉄道駅等への移動手段としての役割を担っています。
- 現在、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け、路線バスの再編や他の交通手段の導入検討等が試みられています。

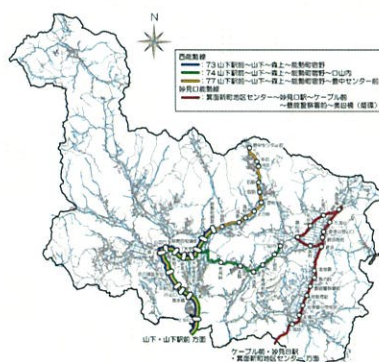


図 バスネットワークの状況

25

④本町の現況

◆住民意向調査：定住意向

- ・「ずっと住み続けたい」が37%であったのに対し、「当面は住み続けるが、いずれ町外へ移りたい」が35%、「すぐにでも移りたい」が7%と、約40%の方が町外へ移りたいと回答しています。

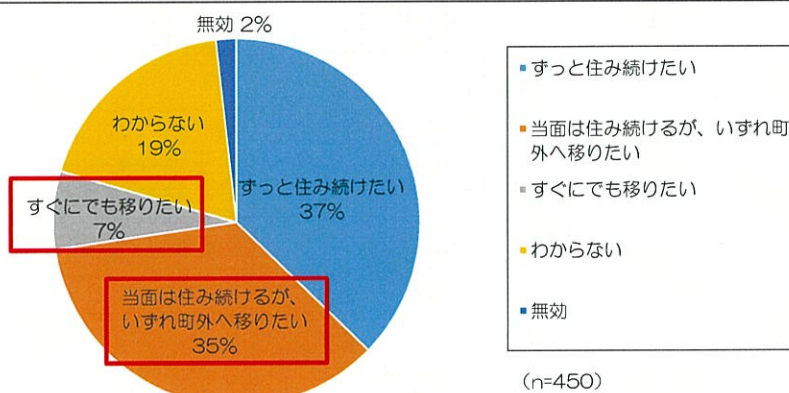


図 能勢町での定住意向(単集計)

26

④本町の現況

◆住民意向調査：能勢町に住み続けたい理由(複数回答)

- ・「自然や季節の食べ物に恵まれているから」が64%と最も多くなっています。

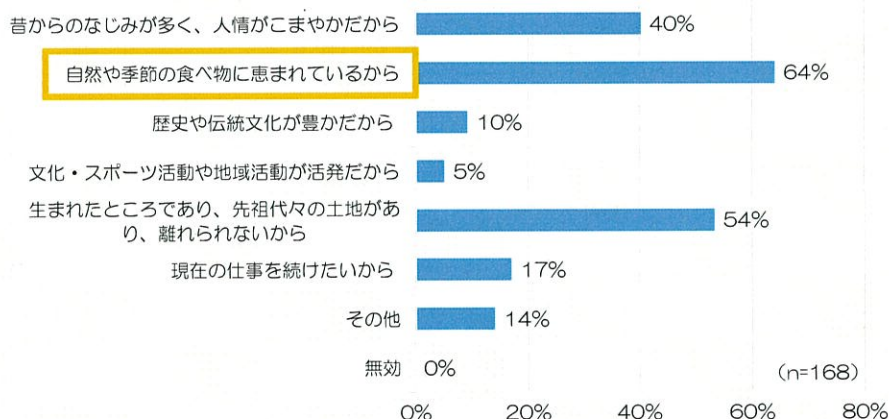


図 能勢町に住み続けたい理由(単集計)

27

④本町の現況

◆住民意向調査：能勢町から移りたい理由（複数回答）

- ・「店舗や医療施設が少なく、生活に不便だから」が85%と最も多くなっています。

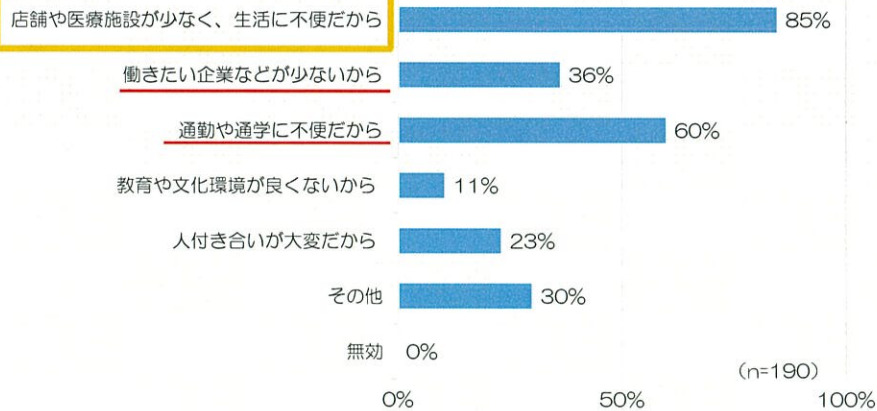


図 能勢町から移りたい理由（単集計）

28

④本町の現況

◆住民意向調査：今後の能勢町のまちづくり（特に都市計画）において重要だと思うもの（複数回答・3つまで）

- ・「誰もが移動しやすいまちづくり」が65%と最も多く、次いで「日常生活が便利なまちづくり」が57%、「働く場があるまちづくり」が40%となっています。

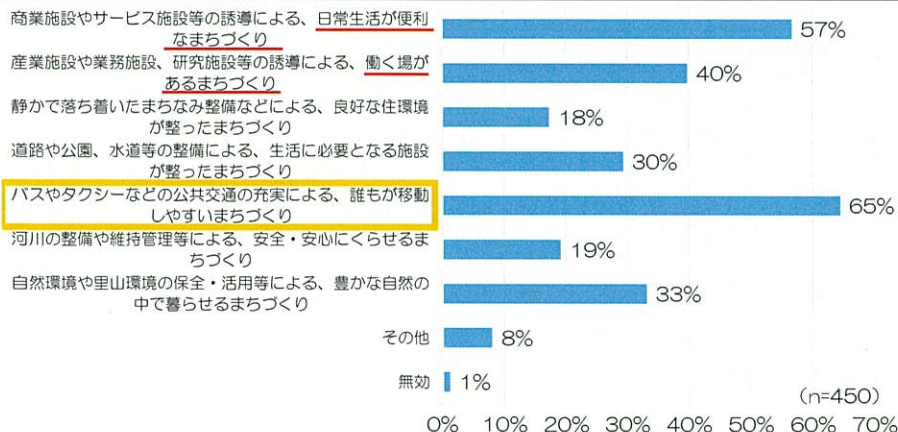


図 今後の能勢町のまちづくり（特に都市計画）において重要だと思うもの（単集計）

29

⑤まちづくりにあたっての課題

⑤まちづくりにあたっての課題

◆まちづくりにあたっての課題

- 課題1：市街地整備と自然環境等保全との適切なバランス
- 課題2：既存産業の高度化や新たな産業の創出
- 課題3：都市基盤の整備・維持管理
- 課題4：持続可能な公共交通ネットワークの構築
- 課題5：防災・減災の取組み

31

⑥基本目標・方針

⑥基本目標・方針

◆まちづくりの基本目標

- 本計画では、第6次能勢町総合計画で定めるまちの将来目標の実現を都市計画の観点から下支えするものとし、関係行政機関、周辺市町、地域内外の人々と連携しつつ、豊かな自然環境や歴史・文化、これまで整備されてきた都市インフラ等を守り活かしながら、「新たな挑戦」を通じて魅力的なまちづくりを進め、総合計画に示す「里山未来都市」の実現を目指します。

豊かな自然環境や歴史・文化、
整備されてきた都市インフラ等を守り活かしながら、
新たな挑戦により築く「里山未来都市」

◆基本方針

- ・方針１：豊かな自然や文化の中で快適に暮らせるまちづくり
- ・方針２：産業振興を図るまちづくり
- ・方針３：生活に必要な基盤が整ったまちづくり
- ・方針４：災害に強い安全・安心なまちづくり

34

◆将来都市構造

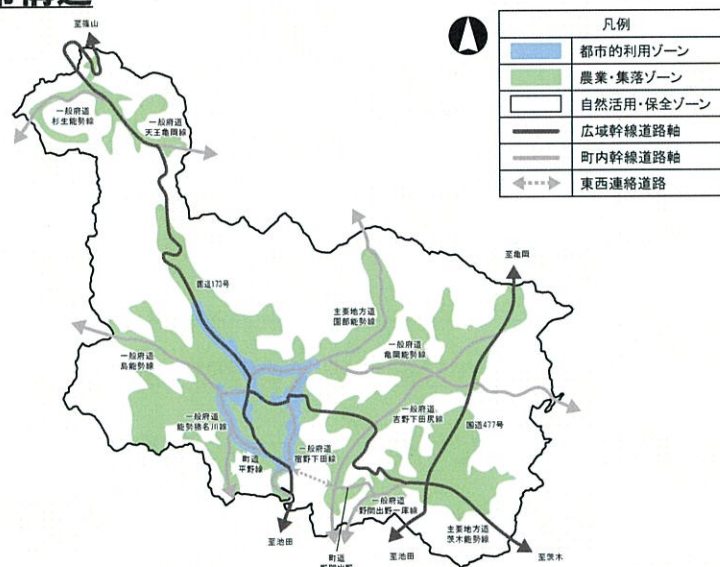


図 将来都市構造図

35

⑦今後のスケジュールについて

⑦今後のスケジュールについて

◆今後のスケジュール

○令和5年10月 第40回都市計画審議会【今回】

- ・都市計画マスタープラン改定の本旨、スケジュール説明
- ・現況整理結果、住民アンケート結果等報告
- ・課題と基本方針の審議

○令和6年1月頃 第41回都市計画審議会

- ・改訂素案の審議
全体構想案等の審議

○令和6年7月頃 第42回都市計画審議会

- ・改訂案の審議

